

バレエで天然泥パック

第24回どろんこミニバレエ大会が6月17日(日)、白滝公民館柴分館前の水田で開催されました。

今年は、大洲市内外より過去最多に並ぶ一般の部24チームと小学生の部5チームの計29チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

梅雨の真っ只中での開催にも関わらず、当日は晴天に恵まれ、絶好のどろんこバレエ日和となりました。

試合は、ダイビングしてレシーブするハッスルプレーも数多く見られ、観客から大きな歓声が上がっていました。



一人ひとりが輝く『あさ』を迎えるために

男女共同参画社会づくり県民大会が、6月20日(水)、松山市のひめぎんホールで開催されました。大洲市からは「大洲市女性団体連絡協議会」および「おおず女性塾」から18人が参加しました。

基調講演として、脚本家(代表作・平成27年後期NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」・平成29年NHK特集ドラマ「眩々北斎の娘」)で映画監督の大森美香さんが講演を行いました。

講演では、「いまだに男は外で働いて、女は家で支えるもの」「育児休暇を取得した夫が、昼間に公園で子どもと遊んでいると白い目で見られる」という風潮が日常にあって、男女共同というものに隔たりがあることを話されました。

その後の対談では、「ひめボスグランプリ受賞から学ぶ」と題し、ワークライフバランスの取り組み事例発表がありました。その中で職場においては、「人と人との関係性が重要」「タイムマネジメントができているか」「残業すると頑張っている感覚に陥ってしまいがち」「仕事だけでなく社会活動やスポーツに参加することが必要」など、現場での事例を紹介されました。多くの参加者も一様にうなづきながら男女共同参画についての理解を深めていました。



第18回 大洲扇面の美展 ～山荘画廊～

第18回大洲扇面の美展表彰式が、6月10日(日)山荘画廊で開催されました。大洲市内外から多数の作品がよせられ、会場には個性豊かな作品が展示されました。入賞したみなさんは次のとおりです。(敬称略)

▽最優秀賞

泉 敬子
藤田 守
松本 祐子
青野 通子
山中 智子
福島 眞理子
中田 啓子
酒井 静子

▽優秀賞

▽大洲市長賞

▽大洲商工会議所会頭賞

▽大洲商工会議所会員優賞

増田 ツヤ子
浜田 隆美
澤山 繁子
上野 仁美
曾根岡 勲
岩本 政光
越智 千春
広沢 さかえ
稲垣 章
浅野 溜子
中野 麻壽美
山田 勝利
梅原 秀敏

▽佳作



最優秀作品「牡丹(ぼたん)の風」(作:泉敬子さん)



最優秀作品「トンボと風鈴」(作:藤田守さん)

庭園の魅力再発見 ～文化財庭園フォーラム～

6月16日(土)と17日(日)の両日、中四国では初となる「第15回文化財庭園フォーラム」が開催されました。また、フォーラムまでの約1週間は文化財庭園の維持管理に携わる全国の庭師ら約30人が参加して実技研修会が行われました。



9日(土)から行われた実技研修会では、臥龍山荘や如法寺庭園を会場として、後継者育成を目的に親方が若い庭師を指導する形で作業が進められました。



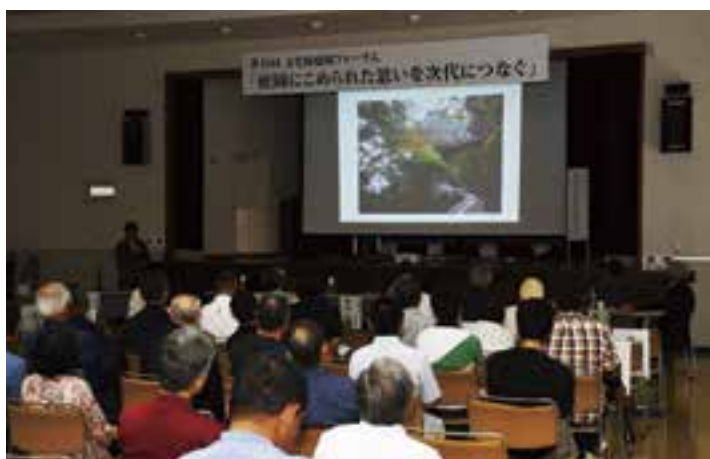
17日(日)は市役所でシンポジウムが行われ、約150人が参加しました。「庭園にこめられた思いを次代につなぐ」をテーマに講演や討論が行われました。

臥龍山荘庭園について、その維持管理に携わる西岡浩一こういちさんは、近年の庭園整備により肱川や背後の山並みなどが見渡せるようになってきたと説明し、コメンテーターからは、借景を基本とした庭園というよりは「眺望のための庭園」ではないかという意見なども出されました。



16日(土)は実技研修会の総仕上げとして、臥龍山荘庭園での作業が一般に公開されました。

庭師によって臥龍山荘庭園の特徴や今回の研修で整備したポイントなどが解説されたほか、実際に剪定などの作業も披露され、約50人の参加者はその見事な技術に見入っていました。





愛媛鉄道本社（大洲駅に設置）

愛媛鉄道開通100周年記念歓迎セレモニーが6月21日(木)伊予大洲駅、伊予長浜駅で開催され、観光列車「伊予灘ものがたり」の乗客約80人が参加しました。

二宮市長は、「大正7年2月14日に愛媛鉄道が開通し100年を迎え、大洲市の経済発展の礎となり、物資の流通・移動手段が『脇川』を主流としていたものが『鉄道』へシフト変換し、大洲市が飛躍的に発展した」と述べました。

また、参加者は「100の人文字」を作りセレモニーを盛り上げ、最後に、藩政時代から続く大洲名物の「いもたき」を味わいました。わずかな時間ではありましたが歴史を感じるひとときを過ごしました。



保線風景

祝100周年

愛媛鉄道(大洲～長浜)



伊予大洲駅線路内



前周辺



五郎鉄橋と機関車



神南山の麓とSL

「愛媛鉄道開通

100周年記念」



伊予長浜駅



伊予長浜駅の乗降



大和橋（長浜）と鉄道



大越隧道（上老松）

愛媛鉄道年表（一部抜粋）

- 1918 大正7年2月14日 大洲駅（現伊予大洲駅）～長浜町駅（現伊予長浜駅）間(15.8km)が開通
- 1920 大正9年5月1日 愛媛鉄道の支線として大洲(若宮分岐点)から内子間(10.3km)が開通
- 1932 昭和7年12月1日 予讃線、南郡中～伊予上灘間(11.1km)が開通
- 1933 昭和8年10月1日 大洲駅～長浜町駅間、若宮～内子駅間が国有化となり愛媛線となる
加屋駅を移転し、伊予白滝駅に改称
- 1935 昭和10年6月9日 予讃線、伊予上灘～下灘間(5.3km)が開通
10月6日 予讃線、下灘～伊予長浜間(10.7km)が開通
- ※これにより予讃線は、高松から伊予大洲まで鉄道でつながった。
内子線、五郎～新谷間(3.7km)が開通、同時に伊予大洲～新谷間の営業を廃止し、新谷～内子間を内子線に編入。
- 1936 昭和11年9月19日 予讃線、伊予大洲～伊予平野間(4.0km)が開通
- 1939 昭和14年2月6日 予讃線、伊予平野～八幡浜間(9.3km)が開通
- 1961 昭和36年10月20日 八多喜～五郎間に春賀駅が開業
- 1972 昭和47年3月15日 四国初の特急列車「しおかぜ」号を高松～宇和島間で運行開始
- 1986 昭和61年3月3日 予讃線、向井原～内子間(23.5km)および伊予大洲～新谷間(5.9km)が開通
- ※内子線五郎～新谷間(3.7km)が廃止
- 1987 昭和62年4月1日 四国旅客鉄道株式会社発足
- 1988 昭和63年4月10日 瀬戸大橋開通
- 2014 平成26年7月26日 JR四国初、本格的観光列車「伊予灘ものがたり」運航開始

年表は、四国旅客鉄道（JR四国）より一部引用していて、過去の愛媛鉄道の写真については、市博物館、市役所長浜支所保管の写真の一部掲載しています。



加屋駅（現伊予白滝駅）



八多喜駅

シンボルのひとつとして



模型制作代行業として働く野口勝也^{かつや}さんが、市に「銀河鉄道999^{スリーナイン}」の模型を寄贈するため、6月8日(金)、市役所を訪れました。

寄贈された模型は、市販のプラモデルをベースに、特別な塗装や特注のシールによって「999号」が忠実に再現されています。

野口さんは、「松本零士^しさんにゆかりある大洲市のシンボルのひとつとして広まってほしい」と話しました。

チーム一丸 全力前進



第22回鹿野川湖ドラゴンボード大会が、6月10日(日)、鹿野川湖漕艇場^{そうてい}で開催されました。今大会には、市内外から集まった29チーム約300人がエントリーし、往復約450mでタイムを競い合いました。

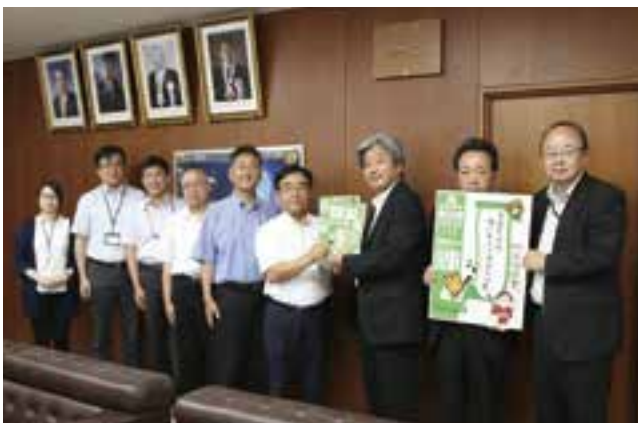
安定したレース運びをするチームがいれば、折り返し地点で苦戦するチームも見られました。どのレースも目の離せない展開となり、会場は始終盛り上がりを見せていました。

いざという時のために

NTTタウンページ(株)が作成した「愛媛県南予版タウンページ」および「南予版防災タウンページ」の贈呈式が、6月29日(金)、市役所で行われました。

防災タウンページには、避難場所などの情報や、災害の備え・対処の方法などが掲載されています。

NTTタウンページ(株)四国営業本部長の松本四朗^{しろう}さんは「これからも行政と連携して、観光や防災の事業に取り組みたい」と話しました。



プールの季節 到来

八幡浜・大洲地区運動公園水泳プール開園式が、6月29日(金)に行われました。式には、市内の幼稚園児120人が招待されました。くす玉割り、プレゼント贈呈などの後、県指定無形文化財「大洲神伝流」が披露されました。

その後、園児たちは歓声と水しぶきを上げながら水の感触を楽しみました。一般開放は、8月31日(金)まで(午前9時～午後5時、無休)。



大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

厳しい暑さが続いていますが、体調を崩していませんか。気が付けば平成30年も、8月を含め残り5カ月。青年部では、共に活動していただける、メンバーを募集中です。商売の勉強をしたい、自身のスキルアップをしたい、人の輪を広げたい人には、ぜひとも一緒に活動してほしいです。詳しくは、商工会議所へお問い合わせください。

【今月のクイズ】

青年部が主体となってスタートした『えひめYOSAKOI祭り』ですが、平成30年は何回目を迎えるでしょうか。

- ③ 20回
- ② 15回
- ① 10回



【7月号のクイズ解答・解説編】

平成29年の猛暑日の日数ランキングで、大洲は何位だったでしょうか。

- ① 8位
- ② 18位
- ③ 26位

正解：①

解説：平成29年に大洲市で観測された猛暑日は、16日で全国8位でした。同率8位に岐阜県の高岡市がランクインしました。全国1位は大分県の日田市です。

愛媛、大分、岐阜と言えば、日本三大鶉飼いの地です。どこかしら、共通点が多いのかもしれませんが、ちなみに最高気温のランキングは島根県益田市が1位でした。気になる大洲は50位以下でした。



※今月号のクイズの答えは、広報おおよず9月号に掲載します。

文化財

ともおかしんじ
友岡神社のイスノキ
大洲市指定天然記念物
友岡神社所有



この木は、出石寺から北北西へ約1kmに位置する友岡神社境内にそびえています。推定樹齢は約300年、樹高は約17mで、イスノキとしては市内で最大級の大きさを誇ります。

イスノキは、アブラムシの寄生によって、葉に大小の「虫癭（虫こぶ）」が頻繁に生じます（写真右下）。穴の開いた虫こぶを、子どもがひょうひょうと吹き鳴らして遊ぶことから、別名を「ヒョノノキ」とも呼ばれています。

イスノキは、神社の境内などでよく目にすることができますが、この木は根が岩盤を抱え込むように伸びているのが特徴です。この根張りは、他のイスノキでは見られない光景をつくり出していて、力強い安定感が大きな見どころです。

(平成13年11月1日指定)

野鳥

シジュウカラ（四十雀）
スズメ目シジュウカラ科
全長 15cm



庭木の枝先で「ツツピー、ツツピー」と元気よくさえずり、白いほっぺと立派なネクタイを締めたような模様が特徴の可愛い小鳥です。巣箱を利用することでもよく知られていて、自宅の郵便受けで子育てをしたなどの話を聞くことがあります。

また、カラ類で群れている時は一番先にやって来て、偵察隊の役目をしているようにも見えます。ほとんど昆虫を食べていますが、餌の乏しい季節は木の実なども食べます。体長わずか10数cmの小鳥でも、群れることによって外敵から狙われにくくしたり、いろいろな食べ物を季節によって摂り入れたりして命をつないでいることは、本当に素晴らしいことです。さあ、みなさんも始めてみませんか。バードウォッチングは、40（シジュウ）から。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト